

## 高校生向け消費生活出前講座

〈授 業〉 家庭科「家庭基礎」(「家庭総合」 社会科「現代社会」の授業においても出前講座可能)

〈学習指導要領解説〉 第1節 「家庭基礎」 2内容とその扱い (2)生活の自立及び消費と環境

### (2) 生活の自立及び消費と環境

自立した生活を営むために必要な衣食住、消費生活や生活における経済の計画に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ環境に配慮したライフスタイルについて考えさせるとともに、主体的に生活を設計することができるようにする。

### エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画

消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解させ、適切な意思決定に基づいて行動できるようにするとともに、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができるようにする。

#### (ア) 消費者問題と消費者の権利

『…指導に当たっては、契約や消費者信用、多重債務問題など、現代社会における課題を中心に取り上げ、消費者問題が生じる背景や守られるべき消費者の権利について理解させる。』(抜粋)

#### (イ) 生涯の経済計画とリスク管理

『…クレジットカードや電子マネーの普及などキャッシュレス化によって大きく変化しており、情報が氾濫する中で慎重な意思決定が求められていることを具体的な事例を通して理解させる。』(抜粋)

### オ ライフスタイルと環境

生活と環境とのかかわりについて理解させ、持続可能な社会を目指してライフスタイルを工夫し、主体的に行動できるようにする。

#### (ア) 消費生活と環境とのかかわり

『…各自の消費行動と家族や地域社会における消費総量の問題との関連について、具体的な事例を通して考えさせる。』(抜粋)

#### (イ) 環境負荷の少ない生活への取組

『身近な生活の中から、地球温暖化など環境問題に配慮する製品の選択、購入、使用方法や生活の仕方などを点検させ、どこに問題があるのか、どう改めたらよいのかなど、環境負荷の少ない生活の工夫について考えさせる。』(抜粋)

### (内容の範囲や程度)

内容の(2)のエについては、契約、消費者信用及びそれらをめぐる問題などを取り上げて具体的に扱うこと。  
オについては、環境負荷の少ない衣食住の工夫に重点を置くこと。

〈使用教材例〉 ・パワーポイント・DVD・ロールプレイングシナリオ・配布資料 (①リーフレット「あま〜い誘いにご用心」 ②消費者注意報各種 ③ワークシートなど)

※教科書の対応ページ例：開隆堂「家庭基礎」第5章 消費者としての自立と社会参加 P160～P181

東京書籍「家庭基礎」第4章 消費者としての生活と環境 P58～P74 (京都府内の高校で多く使われている教科書を参照)

《授業案1》 消費生活と生涯を見通した経済の計画

若者に多いインターネットトラブル ～批判的思考を養おう～

＜目的＞ 若者の消費者相談の8割以上を占める通信販売（インターネット）の現状について認識させ、騙されないための批判的思考及びトラブルに巻き込まれた場合の問題解決能力を身に付けさせる。

時間	内容	ポイント	教材・その他
導入（5分）	あいさつ ・消費生活センターの仕事 ・高校生の相談の概要	・消費生活センターの役割 ・高校生の消費者トラブルの実態	
展開1（25分）	批判的思考を養う ・Tシャツの購入契約から考える	・ネット通販と対面販売の注意点 ・インターネット通信販売利用時のポイント ・エシカルの考え方	グループワーク可 ・話し合い後、グループの代表が発表
展開2（10分）	個人情報の流出と情報リテラシー	・ワンクリック請求の注意点と対処法 ・危険なアプリの見分け方とウイルス感染 ・SNSの現状 ・写真投稿と位置情報 ・消えない情報	【DVD】（例：「インターネット×リアル」高校生向け各テーマ10分程度）
展開3（5分）	トラブルに遭った場合の対処法	・消費生活センターへの相談方法 ・二次被害に注意	・相談電話のかけ方、伝え方の実践 ロールプレイング可
まとめ（5分）	まとめ ・相談窓口の案内 ・授業の振り返り（感想・質問）		

参  
考

教科書の主な対応ページ：開隆堂 P166「購入方法の多様化と消費者問題」 P173～P175「生活情報の活用から発信へ」  
《授業案1》 東京書籍 P58～P61「現代の消費生活」 「情報リテラシーの重要性」

《授業案2》 消費生活と生涯を見通した経済の計画

自ら考え行動できる消費者をめざして～若者に多い相談事例から～

＜目的＞ 消費生活センターに寄せられた実際の相談事例から、契約の基礎と法律知識、対処法を知り、トラブルに遭った場合でも適切に対応し、自ら解決できる自立した消費者として行動できるようにする。

時間	内容	ポイント	教材・その他
導入（5分）	あいさつ ・消費者問題の発生とその背景	・京都府に寄せられた相談の概要 ・消費者の権利	
展開1（5分）	契約の基礎と未成年者契約	・契約 ・未成年者と成年者の違い ・未成年者契約の取消	【クイズ形式発問】
展開2（5分）	消費者の権利と責任	・消費者基本法 ・国際消費者機構（C I）	
展開3（20分）	若者に多い消費者トラブル事例 ・賃貸マンション・マルチ商法・キャッチセールス・アポイントメントセールス等	・特定商取引法 ・消費者契約法の取消 ・消費生活センターによるあっせん	①【ロールプレイング】 ②【DVD】（例：消費者庁「もしあなたが消費者トラブルに遭ったら」）※①②ともグループワーク可
展開4（10分）	クーリング・オフ制度 ・自ら考え行動する消費者をめざして	・やってみようクーリング・オフ	【クーリング・オフ葉書作成体験】
まとめ（5分）	まとめ ・相談窓口の案内 ・授業の振り返り（感想・質問）	・消費生活相談の社会的意味 ・消費者救済、情報提供、消費者市民社会	

参  
考

教科書の主な対応ページ：開隆堂 P164～P172「社会の変化と消費者問題」「消費者の権利と責任」  
《授業案2》 東京書籍 P62～P65「消費者の権利と責任」

《授業案3》 消費生活と生涯を見通した経済の計画

マルチ商法とクレジットカード ～消費者の自立と責任～

＜目的＞ 消費者問題の発生の背景とその被害の防止や救済、クレジットカードの仕組みについて若者に多い連鎖販売取引（マルチ商法）の実例を通して理解させる。消費者が権利主体として意識し行動することが消費者の責任であり、権利を行使することに繋がることを認識させる。

時間	内容	ポイント	教材・その他
導入（5分）	あいさつ ・消費生活センターの仕事 ・消費者の権利と責任	・消費者基本法 ・国際消費者機構	
展開1（15分）	事例検討（マルチ商法） DVD場面 1 「儲かるバイト？」 「借金と契約」	・消費生活センターで受けた事例 ・未成年者と成年者の違い ・契約の責任	【DVD】例：消費者庁「もしあなたが消費者トラブルに遭ったら」 ・グループワーク可
	解説：クレジットカードの仕組みとキャッシング	・カード式と個別方式 ・多重債務、自己破産、クレジットと借金 ・家計のキャッシュレス化と金融化 ・現金以外の決済方法が招く多重債務	【パワーポイント】
展開2（20分）	DVD場面 2 「被害者と加害者」	得たもの、残ったもの、失ったものは何か ・クーリング・オフとクーリング・オフ延長	【DVD】例：消費者庁「もしあなたが消費者トラブルに遭ったら」 ・グループワーク可
	解説：マルチ商法	・ネズミ講とマルチ商法の違い ・中途解約制度・取消権	
まとめ（10分）	まとめ ・消費者の自立と責任 ・授業の振り返り（感想・質問）	・トラブルに適切に対処する力を身につける	【断り方ロールプレイング】

参  
考

教科書の主な対応ページ：開隆堂 P66「多重債務と消費者の責任及び保護」P160～161「お金を借りるってどういうこと？」  
《授業案3》 P165～169「社会の変化と消費者問題」  
東京書籍 P58～P66「消費者として社会とかわる」

《授業案4》 消費生活と生涯を見通した経済の計画

消費者と企業・行政の社会的責任を考えよう～消費生活センターに寄せられた相談事例から～

＜目的＞ 消費生活センターに寄せられた実際の相談事例を通して、消費者・企業・行政の社会的責任について理解させる。  
また、消費者の視点に立った商品情報の重要性を理解し、消費者として主体的に判断し行動できる実践力を身に付けさせる。

時間	内容	ポイント	教材・その他
導入（5分）	あいさつ ・消費生活センターの役割	・消費生活センター最新データ	【パワーポイント】
展開1（5分）	製品事故の事例紹介		【DVD】製品評価技術基盤機構
展開2（15分）	事業者の責任 行政の責任 消費者の責任	・企業の社会的責任、製品改良、リコール ・消費者救済、事業者指導、法令改正 ・意思決定（選択時、トラブル発生時）	【パワーポイント】 ・実物の展示
展開3（20分）	消費者・企業・行政の社会的責任 「こんにやく入りゼリー」を例に考える	・消費者、企業、行政の立場を決めて事故の防止策を話し合う ・立場の違いを考える	【グループワーク】 ・話し合い後、グループの代表が発表 ・事例は圧力鍋・ドライヤーなどに変更も可
まとめ（5分）	まとめ ・相談窓口の案内 ・授業の振り返り（感想・質問）	・消費者市民社会	【DVD】 経済産業省：製品安全の基礎知識 —製品の不具合を発見したときの対応—（3分51秒）

参  
考

教科書の主な対応ページ：開隆堂 P170～P175「消費者の権利と責任」P178～P179「環境負荷の低減を考えよう」「持続可能な社会に向けて」  
《授業案4》 東京書籍 P63～P64「悪質商法と消費者の態度」「消費者問題への対応と消費者政策」「契約に関する権利と責任」  
P67～P73「消費行動と資源・環境」

《授業案5》 ライフスタイルと環境

持続可能な消費者市民社会の構築～消費者の行動が社会を変える～

《目的》 消費行動が環境や社会に与える影響について考え、持続可能な消費者市民社会を目指した消費行動ができるようにする。

時間	内容	ポイント	教材・その他
導入（5分）	あいさつ ・消費生活センターの仕事	・相談概要	【パワーポイント】
展開1（15分）	食をめぐる社会的課題	・食品ロス ・消費期限と賞味期限 ・異物混入問題と偽装表示 ・国際化するインターネット取引 ・フェアトレード	【クイズ形式】（O×プレート） ・実物教材 Tシャツ、チョコレート、コーヒー、ペットボトル等
展開2（20分）	持続可能な消費生活	・グループワーク 「自分が今日から行動しようと思うこと」	【ダイヤモンドランキング】 ・話し合い後、グループの代表が発表
まとめ（10分）	まとめ ・消費者市民社会 ・授業の振り返り（感想・質問）	・買い物は投票 ・グリーンコンシューマー ・エシカルの考え方	【パワーポイント】

参  
考

教科書の主な対応ページ：開隆堂 P172「消費者運動」P176～P181「ライフスタイルと環境」P78～79「食をめぐる社会的課題を考えよう」  
《授業案5》 東京書籍 P67～P73「消費行動と資源・環境」P110～P113「これからの食生活」